

## 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

### 学士課程(情報工学部)

情報工学部情報工学科ではディプロマ・ポリシーで掲げた目標を達成するため、以下の方針に基づき体系的な教育課程を編成し、実施します。

#### ・教育課程の編成方針について

基礎教育、専門教育では、情報工学専門分野の知識を体系的に学習し、情報化社会の科学技術分野に必要な基礎学力を養成します。1年次において情報工学のすべての専門分野に共通する自然科学と情報工学の基礎知識を身につけ、主に2年次以降に専門科目の基盤的な知識を学習します。3年次以降に発展的な学びをもたらす実習、実験科目で専門的な知識、スキルを身につけ、課題解決力を養成します。4年次には卒業研究を行い、高度な情報技術者に必要な課題解決力、探求力、デザイン力を修得します。

教養教育科目では1年次に初年次教育科目及び「人文社会」「グローバル教養」「英語」科目群からなる選択必修科目を置き、多様な文化、社会に対する知識と複数言語によるコミュニケーションの力を高めます。副プログラムでは、工学を社会課題と結びつけ分野融合の課題発見、解決の力を養成する科目群を通じて、主体的な学びを広げます。

#### ・教育内容について

1, 2年次に置かれた基礎科目を通じて、全学生が数学、自然科学、情報工学の基礎を学ぶことで数理・データサイエンス・AI の知識を技術者として利活用できる力を身につけます。3, 4年次では、数学、自然科学及び情報技術等の発展的内容を学ぶことで、各分野の理解を深化させ、幅広い情報工学の専門的知識を身につけます。さらに、学年進行にあわせて実施する課題解決型の実験、演習および最新の技術的課題を題材とした卒業研究に取り組むことで課題解決力や論理的な思考力、表現力を身につけます。教養教育では、1, 2年次に地球規模の観点から社会の課題や多様な文化のあり方を理解し、複数言語によるコミュニケーション力、自律的学習力を身につけ、グローバル化する社会において技術者が必要とする多文化に対する受容力、複数言語によるコミュニケーション力、課題解決力を身につけます。

#### ・教育方法について

教育課程の実施にあたり、講義、演習、実験、実習等に、課題解決や探求学習などアクティブ・ラーニングを取り入れた多様な授業形態の科目を組み合わせた、教養教育科目、基礎科目、専門科目、副プログラムの教育内容に応じた学習指導を通して専門的な学力を身につけます。

課題解決型の実験、実習科目及び演習科目やアントレプレナーシップ科目を通して、技術の社会実装に必要なデザイン力とキャリア観を身につけます。

専門教育のアクティブ・ラーニングでは、専門的知識や技術を用いて社会の課題解決をチームで可能にするスキルを身につけ、志向性を養います。与えられた課題に対して主体的に探究するための実験、実習科目、卒業研究での学びを通して技術者にとって必要な自主的、継続的探求力を修得します。

#### ・学修成果の評価について

各科目のシラバスで定めた評価方法及び学習・教育到達目標に対する達成度に基づいて、大学が定めた成績評価基準に従って厳格に評価します。自己の学習目標達成度を把握し主体的に計画を立てて学ぶために学修情報を提供します。